

トムス C-HR リヤバンパーフィン

このたびはトムス リヤバンパーフィン(以下リヤフィン)をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。本製品の取り付け方法を以下に記します。正しい取り付けをお願いいたします。本取り付け説明書は「自動車整備技能検定3級合格者」程度の方を対象に記述してあります。用語等でご不明な点は、整備解説書等をご参照ください。なお、取り付け等に関するお問い合わせは、弊社技術までお問い合わせください。
本製品の内容及び付属品は、改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

適応車種 本製品は以下の車種に対応しています。(2016年6月)

トヨタ C-HR ZYX10/NGX50 平成28年12月～トヨタ純正用品、他社製エアロパーツとの併用はできません。
純正マフラー、トムスパレルマフラー(No. 17400-TZX10/12、TNX50/52)以外は装着できません。

取り付け上のご注意 以下の注意を必ず守るようお願いいたします。

- 1.リヤバンパーフィン取り付け作業は、必ず作業員2名で行ってください。
- 2.リヤバンパーフィン脱落防止のため、両面テープは確実に圧着し、取り付けボルト等はしっかり締めてください。
また、走行前にゆるみがないかチェックしてください。
リヤバンパーフィンが脱落した場合は、重大事故につながる恐れがあります。
- 3.車両をジャッキアップする際は、必ずリジットラック等で車両を固定してください。
- 4.塗装に際しては以下の点にご注意ください。
(詳しくは「リヤバンパーフィン素地品の塗装手順」を参照の事)
ボディコート塗布車両は、プライマーの接着力促進効果を発揮できない場合があります。プライマー塗布面のボディコートは塗装用コンパウンド(細目以上)で剥離し、アルコールなどで拭き取り除去してください。
- 7.両面テープの接着力は、気温が15℃以下になると低下します。両面テープ及び接着面を加熱器等で温めてから貼付けを行ってください。
- 8.両面テープの接着力防止のため、本製品の装着直後(24時間以内を目安)の洗車は行わないでください。
両面テープの貼り直しをすると接着力が極端に低下するため、貼り直しは行わないでください。
- 9.純正用品及び他社製品との同時装着はできません。
- 10.リヤバンパーフィン装着により、標準リヤバンパーより、地上高約-21mm低くなります。
- 11.本製品は車両登録後の取り付けを前提としております。登録前に取り付けをする場合は持ち込み登録となります。
- 12.塗装済み品につきましては使用している材料の違い等により車両本体の色と完全に一致しない場合があります。

構成部品 本製品は以下のパーツで構成されております。欠品や破損等が無いことをご確認ください。

【リヤバンパーフィン構成部品】



- ①リヤバンパーフィン L/R x各1
- ②タッピングスクリューx4 (M4x20mm)
- ③ゴムワッシャー 3mmx4
- ④ゴムワッシャー 5mmx4
- ⑤プライマー x1

取付要領



車両プレスラインと①リヤフィンの端末を合わせる。



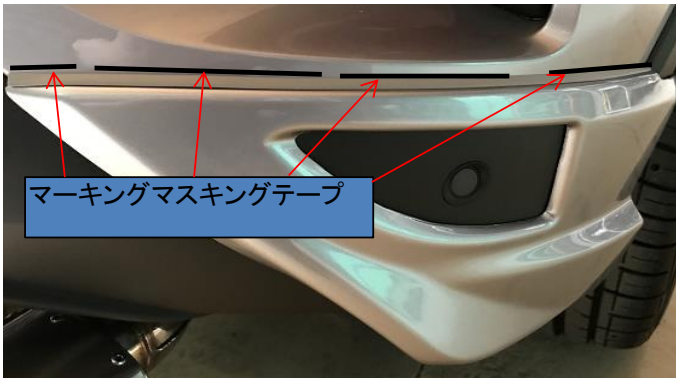
車両フェンダーアーチモール端末と①リヤフィンのラインを合わせる。

- 1.車両に①リヤフィンを左図参考に仮合わせをする。
①リヤフィンの取り付けブラケット位置のクリップを外す。(再使用)



赤線部分にエンドモールが落ち込むとモールが潰れてしまったり、剥がれの原因となります。必ずバンパーカバー側にあたるように取付時の高さ方向をご確認ください。

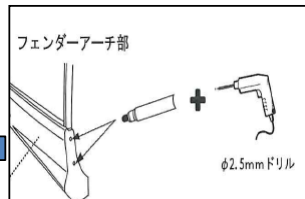
2.仮合わせ時にエンドモールがバンパーカバーと樹脂パーツの境目に落ち込まない様必ずエンドモールがバンパーカバー側にあたるように注意をする。(左図参照)



3.仮合わせ位置を決めたら左図参考に取り付け位置をマスキングテープでマーキングをする。フェンダーアーチモール折り返し部分の②タッピングスクリュー穴はマジック等を使用してマーキングをする。

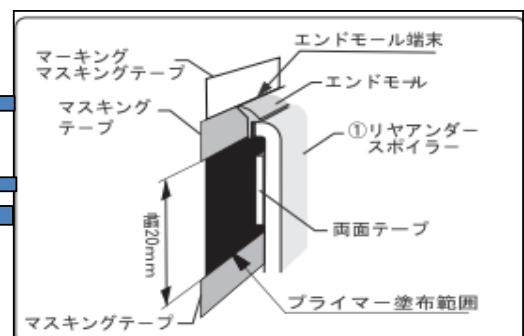
注意！

フェンダーアーチ折り返し部の穴あけ作業前時に、両面テープがバンパーに面あたりしているか必ず確認をする。



4.①リヤフィンを取り外しフェンダーアーチ折り返し部分に②タッピングスクリュー穴を2.5mmドリルを使用し穴開けをする。

5.①リヤフィンの両面テープ貼り付け位置に⑤プライマー塗布範囲をマスキングテープでマスキングする。(下図参照)



6.⑤プライマー塗布をする、



両面テープ離形紙を10mm程剥がし、マスキングテープで①リヤフィン表面側に貼り付ける。

注意！
塗布範囲は、エンドモール端末や①リヤフィンからの
はみだしがないように気をつけて作業を行う。

注意！
プライマー使用に際しては、3M PACプライマー
N200取扱説明書に従い使用する。
乾燥の標準状態：23℃で10分～3時間ほこり。汚れ
水滴が付着しないように十分に乾燥させる。
気温15℃以下では、加熱器を使用して温める。
塗装面を黄変させる為、はみだしたプライマーは
アルコール等で拭き取る。

⑤プライマー塗布作業を終えたら①リヤフィンの
両面テープ離形紙を10mm程剥がし、①リヤフィン
表面へマスキングテープ等で貼り付ける。



両面テープ貼り付け時に一部分が下に
下がりやすいので注意をする。

7.取り付け位置、左右バランスを確認して車両中央
からタイヤ側に向かってテープ離形紙を引き抜きなが
ら圧着をする。

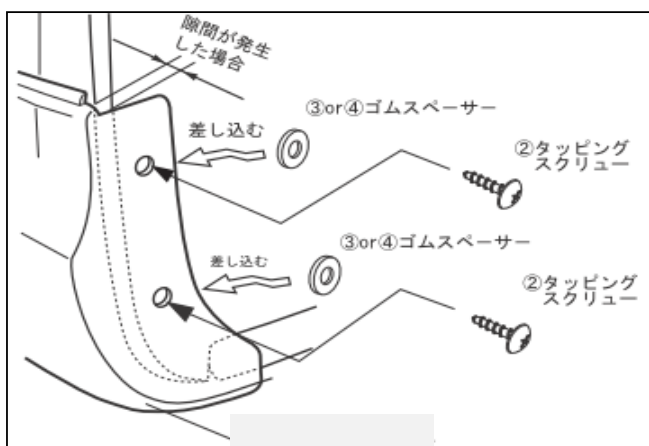


注意！
両面テープの貼り直しをすると、接着力が極端に低
下するため、ボディーにつかないように気を付けて作
業をおこなう。

8.車両クリップを取り付け、フェンダーアーチ部には
②タッピングスクリューを取り付ける。

9.フェンダーアーチ部に隙間ができる場合は
左図を参照に適した③、④ゴムワッシャーを挟み
込む。

注意！
フェンダーアーチ部のタッピングスクリューを締めず
ぎますと破損、変形の原因となります。また、圧着
された両面テープに隙間を発生させる原因となる
恐れがございます。



(お問い合わせ先)
株式会社 トムス
TEL: 03-3704-6191
月～金 AM9:00～PM5:00

TOM'S

リヤバンパーフィン素地品の塗装手順

※素地品は塗装前に必ず仮取付けをして、各部に不具合がないか確認をしてください。

塗装後のクレームには応じません。

構成部品

- ①リヤバンパーフィン L/R x各1
- ②タッピングスクリューx4 (M4x20mm)
- ③ゴムワッシャー 3mmx4
- ④ゴムワッシャー 5mmx4
- ⑤プライマー x1
- ⑥エンドモールx各1 (ブラック、グレー)

※塗装、作業前に不足品がないか必ずご確認ください。

I. 塗装作業手順

1. 塗装面の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで取り除き、必ず脱脂をする。
2. サフェーサー処理を行う。
3. 塗装を行う。塗装乾燥の加熱温度は60度以下で行うこと。

注意！

本製品はABS樹脂製のため適切な塗料を使用する。

注意！

60度以上の加熱は製品変形の恐れがある。

II. モールの貼付け作業

1. 塗装終了後、⑥エンドモールを仮付けをする。
2. ⑥エンドモールを貼り付ける部分を脱脂し、⑤プライマーを塗布する。
3. 右図の要領で⑥エンドモール離形紙を剥がしながら貼り付け後、指示の位置に合わせてカットをする凸アール部は、ハサミで切り込みを入れる。

モールの圧着の際は、49N (5kgf/cm²) 以上で圧着する。

注意！

プライマーが塗装面に付着すると、塗装を傷めるためはみ出し等に気をつけて作業をする。

